

岡山SRH研究会 会報誌～第11号～



慌ただしかった日々が少し落ち着き始めた頃でしょうか。でも、変わりやすい気候、
じめじめした空気・・・なぜか心まで、重く不安定になりやすい季節のようです。
そんな時期こそ、おやつの時間やコーヒータイム、休息時間を大切にしたいと感じます。
雨上がりの木々の緑や、やわらかい日差しも、味わってみると心安らぐものです。
深呼吸をして気分転換をして、鼻歌でも唄いながら・・・
皆様が、この季節も楽しんで過ごして下さることを願っています (´▽`)



第13回 研修会報告

開催日：平成20年5月18日(日)
場 所：生涯学習センター

「学校や医療機関で知っておいてほしいこと～警察からの提案～」

講師：岡山県警察本部生活安全企画課ストーカー対策係 三浦万貴子 巡査部長

近年の相談内容と実態、相談者としての姿勢についてお話していただきました。DVやストーカー等の様々な事例を挙げ、警察での対応について、また周囲で困っている人を見かけたらどのようにアプローチすればよいかなどをお話いただきました。

「ストーカー」には、男女の利害関係によりストーカーに発展するケースや、付き合っていた男女間でのストーカー発展ケースなどがあります。ストーカーが発覚した場合、「ストーカー規正法」により警告ができることや、逮捕に至るまでの刑事手続きや事情聴取について詳しい説明をしていただきました。親しい間柄でDVやストーカーがあった場合、被害者は相手を犯罪者としてみたいわけではないことや、警察に行った場合相手からの復讐が怖いという本音もあり、そういうときにストーカー規正法が使えることを知りました。

ストーカーは女性で93.4%、男性で6.6%、DVは女性で98%、男性で2%と、やはり女性の被害者が多いですが、男性がDVの被害者になるケースもあり、暴力の他、物や金銭の貸し借りもあったため解決までに時間がかかったという事例も紹介していただきました。ストーカー規正法による警告の効果としては、H18年で警告29件、禁止命令1件、H19年で警告28件、禁止命令0件で逮捕は0件との事でした。

DV防止法は、配偶者からの暴力を防止する法律で、被害者が加害者から身体的暴力を受けている場合、接近禁止命令(自宅周囲) 退去命令 電話など禁止命令 以上3点の保護命令が出せます。事実婚の男女間で起きた暴力に対して保護命令を適用したという事例の話もありました。また今は未成年が被害者となる例や、ストーカー規制法の適用の方が増えているとのことでした。

相談者への具体的対応については、まず被害届を出すのかどうか、緊急性があるかどうかを判断するそうです。リスクが高い場合は被害届を出すことを勧めたり、反復、継続、エスカレートしそうなケースには危険性があると判断し、相談者の意向を確認しながらとにかく傾聴し相談の内容を把握するとのことでした。友人側の見方としては、おかしいな・・・と思ったら、警察に行こうよ、といてあげて欲しい。人間関係を広くできるほうが解決につながる・・・との事でした。

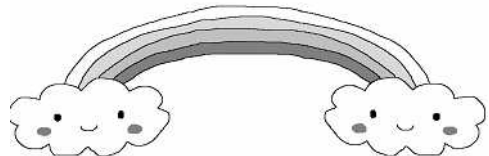
発達障害のある被害者あるいは加害者に対しては?という会場からの質問に対して、事例としては受けたことは無いが、感覚的に感じる時はあるそうです。そういうときこそ警察・病院・学校という横のつながりが必要になると話されました。レイプによる緊急避妊では警察に相談すると金銭的に違うことや、出会い系で知り合ってレイプにつながった場合では相手からの接触があればストーカー規正法にあてはまるといったことも学びました。また、県下で女性がいらない警察署は無いので、女性も相談しやすい場所になってきていることも知ってほしいとの事でした。また、暴力行為があった場合は、被害にあった場所によって管轄が違いためまずは電話対応になるそうです。(電話は警察安全相談係につながります。)

最後に、会場からの質問で「妊婦検診に毎回夫が付き添いで来て束縛のひどいケースがあり、逃げて連絡をとってしまうため解決にならない」という話がありました。どんなに非難しても、いろんな事情から本人がこれでいいと思っているため、第3者が警察に言ったとしても解決できない場合が多いのが残念、今後の課題だとお話されました。

以上のような質疑応答を含め、とても充実した、学びの多い研修会となりました。



上村茂仁先生のコラム



私は中絶の為に来院した女の子に超音波写真を見せます。いろいろな意見はありますが、現実をしっかりと見据えて今後の生き方をきちんとしてもらいたいからです。ここに2つのメールがあります。一つは高校女子のお母さんからと、もう一つは偶然にも同時に送ってきた女の子当人からのものです。

「ホント、まさか我が子が...という思いです。それなりに話をして言い聞かせていたつもりでした。先生のおっしゃった通り、言うのと理解させるのとは違うと...そうですね。私自身の責任も感じてます。娘に、前向きにこれからの生活をしよう...冷静になろう!と...。助けてやろうと思います、しかし...私の初孫をこんな形で天国にいかせる事に心が苦しいのです。将来の夢として一番の楽しみとして孫を抱くことでした。エコー写真を見た瞬間...たまらなくなりました。この事の重大さを娘と共に共有して行くつもりです、とはいえ、その事に縛られてばかりでは娘も参ってしまうと思うので、その辺りを考えながら忘れる所、忘れてはいけない所を考えます。お世話になります、よろしくお願いいたします。」

「今までお腹に赤ちゃんがいることを実感したことはなく、ただ検査で陽性であるだけでした。でも、今日赤ちゃんの心臓が動いているのを見て本当に自分は妊娠していて一人の母親なんだと感じました。そして、同時に赤ちゃんに対して申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。その子はあと、一週間しか生きられない。コンドームつけているから丈夫だろう。そんな安易な気持ちが一人の赤ちゃんを天国に行かせてしまう。そう思うたび胸が痛み、涙がでて後悔ばかりがでてきます。後悔ではなくこれからなので、あと1週間この赤ちゃんの母親として覚悟を決めたいです。母は相当のショックをうけていて、その原因は自分にあります。母はあまりご飯を食べなくなりました。多分喉を通らないのだと思います。母が倒れないか心配です。母に何て言葉をかけていいのかわかりません。母にはとても迷惑をかけています。これからは、迷惑をかけないようにしていきたいと思っています。これからお世話になります。」



親子で語り合うために...そのようなタイトルで近頃、性教育をしています。この親子は素敵な親子です、でも、何かが足りなかった。それを見つけ出さないと、今の性の問題は解決しません。

コラムバトンリレー

<第10走者> 岡山大学医学部保健学科 山本美香子
~岡山市保健所HIV/性感染症 無料検査体験報告~

HIV/性感染症の無料検査をしました。検査は完全なプライバシーが配慮されています。例えば検査を匿名で受けられ、誰にも会わずに検査を受けることができるようにも工夫され、担当の看護師さん以外は他の受診者、職員さん誰とも会いません。また、性歴などについて詳しく聞かれることはありませんでした。ただ一つ残念だったことは、検査は人気があるようで、朝9時の検査予約を希望していましたが、予約が取れたのは1ヶ月半後の5月中旬でした。プライバシーに配慮しているため30分に1人の受診者枠があるようですが、カップルや友達同士で受診できるシステムがあれば、より多くの人に検査を受けてもらえるのではないかと思います。検査結果は1週間後に聞きに行きます。医師から結果が伝えられ、私の検査結果は全て陰性でしたが、検査の感度の話を聞かされました。陰性だったので安心しましたが、検査の感度を調節している話を聞いて、身が引き締まる思いがしました。緊張して受診しましたが、考えていたよりも気軽な検査でした。検査予約は時間に制限があるなど予約が取りにくいようですが、もうすぐ夏休みなので中高生にも気軽に受けてもらいたいです。検査を受けることで、自分の体について考えるきっかけになればいいな、と思います。



総会報告

H19年度の活動報告・収支決算報告をし、H20年度の事業案・会計予算案について承認をいただきました。平成20年度の活動は、次のとおり予定しています。

- * 研修会の開催：年4回（5/18、7/12、11/16、2/28）
- * 学会発表
- * 会報誌の作成
- * かふえ101の開催
- * 病院MAPの作成

今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



報告・連絡

- * 次回研修会は7月12日（土）開催予定！詳細は同封の案内をご覧ください。
- * コラムバトンリレーを担当してくださる方がいらっしゃいました是非ご一報を。
- * 会報誌についてのご意見・ご要望も、お待ちしております。

岡山SRH研究会 事務局 <お問い合わせ先>
FAX: 086-803-5336
E-mail: srh_ok2000@yahoo.co.jp